

第2回 横浜市墓地等指定管理者選定評価委員会 議事録	
日 時	平成 29 年 6 月 12 日 (月) 13 時 30 分～16 時 30 分
開 催 場 所	松村ビル別館 501 号室
出 席 者	上 藺 朗委員、吉川 美津子委員、小谷 みどり委員、中島 邦雄委員 (委員長)、 松本 和子委員、三上 勇夫委員
欠 席 者	池邊 このみ委員、川端 清道委員
開 催 形 態	非公開 (傍聴者 0 人)
議 題	1 議事の公開について 2 応募状況等について 3 面接審査等 4 指定候補者の決定
決 定 事 項	1 第 2 回委員会を非公開とする。 2 日野こもれば納骨堂の指定候補者を「清光社・横浜植木共同事業体」とする。
議 事	<p>1 議事の公開について</p> <p>(1) 委員 8 名中 6 名が出席のため、横浜市墓地等指定管理者選定評価委員会運営要綱第 7 条第 3 項に基づき、会議が成立。</p> <p>(2) 個別、具体的な案件となることから、会議を非公開とすることについて確認。</p> <p>2 応募状況等について</p> <p>(事務局) 応募状況及び欠格事項について、説明。(資料 1)</p> <p>(中島委員長) 応募団体に提出いただいた財務諸表等について、公認会計士である上藺委員から説明を。</p> <p>(上藺委員) 指定管理業務を行うにあたって、財政状況が十分な体力が備えられているか、継続的に指定管理業務を行う能力があるかを数字的な観点で見た。</p> <p>両者とも財務健全性という意味では、非常に優良な企業であるため、十分指定管理を継続して行う基盤があると考えられる。</p> <p>(事務局) 選定手順について、説明。(資料 2) ～ (資料 4)</p> <p>(中島委員長) 横浜市指定管理者制度運用ガイドライン第 4 章 3 (2) ④に基づき、最高点、最低点を除く残り委員の平均を得点とする場合、評価の合計点に最高点、最低点と同点の委員が出た場合の扱いについて決める必要があると思うが、事務局の案はあるか。</p> <p>(事務局) 最高点、最低点と同点の委員がいた場合、両委員の評価点を除いてしまうと、限られた委員数の中、さらに少ない委員数での評価点平均が委員会全体の評価点になってしまうため、同点のどちらかの点数を除く形が良いのではないかと考えている。同点のうち、どちらの委員の点数を除いたとしても、委員会全体の評価点には影響がないため、どちらかをくじ引き等で無作為に除く方法が事務局としての案。</p> <p>(中島委員長) 全体の平均を委員会の評価点とすることから、同点の委員のどちら</p>

を除いても委員会全体の評価には影響がないということもあるため、事務局案のとおりでよいか。

(一同) 異議なし。

3 面接審査等

応募団体が提案内容についてのプレゼンテーションを行い、その後、委員から質疑を行った。その後、委員間で討議の上、最終評価を行った。

【主な質疑応答】

・応募理由をもう少し具体的に教えてほしい。特に、公益性・永続性が応募理由になるということが、どういったイメージなのか詳しく教えてほしい。

⇒墓地は迷惑施設であるというイメージを払拭したいというのが応募理由の1つ。そのために、アウトリーチ活動やイベント開催等の自主事業等を通じて地元の方と関わりを持つことで、迷惑施設ではなく1つの施設として考えていただけるようにしたい。また、施設管理の中で違法駐車や交通渋滞が問題として出てくるが、地域の方と連携して、交通整理員を適切に配置するなどの対応をとりたいと考える。指定管理者として、財務状況の健全性が永続性を生み、公共に資する指定管理者になると考える。

・送迎バスも含め、自主事業はいつから行うのか。

⇒指定管理の開始とともに行うことを考えている。これまで他施設において実現してきたものからピックアップして提案しているため、すぐに実現可能である。送迎バスについても1年目から実施したいと考えている。

・銘板販売数・粉骨サービス等は全使用者のうちどの程度を想定しているのか。

⇒8割強を見込んでいる。これまで管理した類似施設の実績に基づいて積算している。

・銘板販売収入として、毎年見込んでいる額の根拠は。

⇒年間販売見込み件数に単価をかけている。ここに、基本となる銘板のデザインの他に、家紋や図柄等を追加で希望される場合の追加費用である付帯費用も含まれている。

・基本となる最も安価な銘板を頼む方が多い場合など、自主事業の収入が想定より減額となった場合、指定管理業務（施設運営）に影響はないのか。

⇒指定管理の業務費用と別に自主事業を考えているため指定管理業務には影響がない。

・自主事業の収支は、指定管理業務とは切り離しているということか。

⇒そのとおり。納骨が一気に殺到すれば、その分人件費がかさんでしまい原価が高

くなるが、予約制にするなどして、ある程度コストをコントロールできると考えている。

・地下室は結露してしまうと納骨施設としてよろしくないと思うが、結露対策はどのように考えているか。

⇒他墓地の納骨施設で地下の納骨施設を管理した実績があるが、そこは結露がそこまでひどくなかった。結露するようであれば、指定管理者指定後に横浜市とともに検討したい。

・地域との連携について、十分研究したか。また、いつから地域に入っていくつもりか。

⇒土地柄は存じあげているつもり。ただ、潜在的なニーズ等もあることから、地域に入って事前にニーズを抽出し、管理運営に役立てたいと考えている。時期としては、指定管理者指定後すぐ、地域の方の話を聞きに行きたいと考えている。

・戸建の方などとのコミュニケーションはどのようにして取るつもりか。

⇒まずは連合町内会等を通して話ししていくと思う。その後、個別の自治会等とコミュニケーションをとりたいと考えている。

・公の施設の指定管理は、管理区域のみでなく、広域で公共施設としての役割も問われるのかと思う。例えば、洋光台通りの街路樹は老木も多く、台風等で倒れる不安があるが、どう考えるか。

⇒所管は異なるが、公の施設として、情報発信はできるかと思う。

・周辺に駐車場はあまりないと思うがどう誘導するのか。

⇒周辺駐車場は少ないため、基本的には可能な限り車での来館はご遠慮いただくことを考えている。

・違法駐車等の問題があると思うがどうか。

⇒送迎バス等の運営が重要だと考えている。

・洋光台は土丹層であるため、管理が難しい面もあると思うが、シンボルツリーのハナミズキの管理はどう考えているか。

⇒ハナミズキは湿度に弱く、中庭という環境から、最初の管理は大変かと思う。現在工事中であるため、変更の余地があるのであれば、横浜市と協議したい。

・応募書類中の「予防管理」とは具体的にどういったことか。

⇒事前に課題等を洗い出し、管理上のリスクを掴むということ。例えば台風の時期にどういったリスクがあるのかなどを話し合い、リスクを事前に掴み取る。

・応募書類中の「時代を先取りした園芸管理」とは具体的にどういったことを指すのか。

⇒古いものを大切にしながらも、新しいものを積極的に取り入れていこうという考えに基づき、指定管理業務を行うことを指す。

・デジタルサイネージとは、具体的にどういうものを想定しているのか。

⇒タッチパネル式の大きな画面の設置をしたいと考えている。

・ホームページは、いつ開設する予定か。

⇒指定管理者指定後、すぐに作成し、4月1日からの開設を考えている。ただ、可能であれば事前に案内したいものもあるため、横浜市と協議のうえ、2～3月に開設できればと考えている。経費は提案費用の中に含んでいる。

・管理料未納者に対し、どういった作業をするつもりか。

⇒提案として、督促、自治体に対する縁故者等の照会等による使用者の追跡を考えているが、横浜市との役割分担による。

・自動搬送式納骨施設の運営の中で、使用者によっては、使用者の情報を他者に知られたくない、他者に墓参されたくないといった方もいるかと思うが、どのように扱うか。

⇒民間施設では、使用者以外にも案内しているところが多いが、公の施設ということもあるので基本的には、使用者本人のみ墓参可と考えている。詳細な扱いについては、横浜市と協議のうえ決めていきたい。

・自主事業の提案は、利用者ニーズや社会情勢の変化により増える可能性はあるか。

⇒ある。その際は、横浜市と協議のうえ、実現させたい。

・例えば、遠方の親族や著名な方の墓参もあるかと思うが、扱いをどうするか。

⇒基本は使用者本人に限るべきと考えるが、使用者本人が墓参を認めた場合は、指定管理者がマスターカードを使い、墓参を認めることとなる。

・合葬式納骨施設の場合は、案内すべきではないかと思うがどうか。

⇒合葬式納骨施設を利用していることが特定できている場合は、献花台にて墓参できることをお伝えする。

・収支予算書の支出のうち、「その他」とは。また、金額的に大きいものは。

⇒自主事業経費、消耗品費、事務費等。金額的に大きいものは、銘板販売経費、粉骨業務経費、駐車場運営経費等

・人件費は、5年間同額（固定）としているのか。
⇒社会情勢等により変化があることや、退職金等の時期が読めない要素もあるため、5年間で平滑化して収支計画を立てている。

・駐車場運営収入や供花販売収入等について、5年間で大きな変化があるが、どういった考えに基づいているのか。
⇒他類似施設の実績を参考にしながら、募集数を上積みする形で積算している。初回到購入する銘板等については、5年間の平均としている。

・駐車場は不足するという話があったが、施設利用者が5年間かけて増加したとしても、満車の状態が継続すると売上は増えないかと思うがどうか。
⇒駐車場が少ないというのは、あくまで繁忙期の話。通常期においては、それほどではないと想定されるので、徐々に施設利用者が増加すれば、それに伴い駐車場収入等も増加していく。

・徐々に収入が上がるのであれば、収支もプラスに転じるかと思うが、収支が0になっている。どこで調整しているのか。
⇒施設利用者が増えれば収入も増えるが、新設施設ということで、不測の事態が生じる可能性があり、経費も増えるため、目に見えるほど利益が上がらないという考えにより、収支をゼロとしてまとめている。施設を運営してみないとわからない部分は大きい。

・送迎バスは1台か。また、乗降はどこを考えている。
⇒1台で、繁忙期に1時間に3回の運行を想定している。乗降は洋光台駅を考えている。

・洋光台駅は、待機場所が限られ、かなり難しいと思うが。上大岡駅からはどうか。
⇒マイクロバス以外にワゴン車等による送迎や上大岡駅も視野に入れながら検討していく。

・日野こもれび納骨堂にて想定されるトラブルとその対応策は。
⇒自動搬送式納骨施設のオペレーションの詰まりが起こった場合、墓参者に迷惑がかかり、トラブルのもとになると考えられる。そのため、供用開始前に自動納骨機械のメーカーと共に設備の点検を行い円滑な運営を行うことができるようにしたいと考えている。

・リーフレット等における外国語表記は何語を想定しているのか。
⇒英語、中国語、韓国語を予定している。

【委員討議】

・ 駐車場はなぜ収支がマイナスとなるのか。

⇒ (事務局) 開所当初は利用者も少ないためではないかと思われる。「駐車場設備設置」がリース代と思われ、「駐車場管理運営」には人件費も含まれているのではないか。

・ 日野公園墓地には駐車場はないのか。

⇒ (事務局) ありません。

・ 銘板1つで納骨堂の選択を左右することもある。銘板のデザインにこだわりがある方は、種類が多い納骨堂を選択することもある。民営の納骨堂の場合、初期費用に含まれていることが多いため、相場の金額はわからない。

・ シンボルツリーが枯れてしまう心配があるので、検討できるようであれば指定管理者が決まった段階で検討してほしい。

⇒ (事務局) 了解した。

4 指定候補者の決定について

(事務局) 集計結果について説明。公募要項で定める最低基準(110点満点中66点)を満たしている。

【集計結果】(110点満点)

清光社・横浜植木共同事業体 86.3点

(中島委員長) 最低基準(110点満点中66点)を満たしているため、「清光社・横浜植木共同事業体」を指定候補者とする、と決定してよいか。

(委員) 異議なし

(中島委員長) ではこの結果に対して委員からコメントをお願いしたい。

・ もう少し詳細な収支計画が示されているとより良かった。

・ 指定管理者が提案した内容を実際に行うかどうかを地元がチェックできるようにすべきと思う。どのように確認ができるか。

⇒ (事務局) 議事録・報告書等の記録に基づいて確認していただくか、事務局にお問い合わせください。

(中島委員長) 「横浜市墓地等指定管理者選定評価委員会運営要綱」に定められている市長への報告については、事務局が案をまとめたうえで、最終的な文言については委員長一任でよいか。

(委員) 異議なし

<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 日野こもれび納骨堂指定管理者応募状況</p> <p>(2) 日野こもれび納骨堂指定管理者選定手順</p> <p>(3) 日野こもれび納骨堂指定管理者応募者評価表</p> <p>(4) 日野こもれび納骨堂指定管理者応募者評価表（集計表）</p> <p>2 特記事項</p> <p>今回委員会の議事録については、事務局が作成した案を委員が確認後、公表する予定。</p>
------------------------------------	---